

「生徒指導研修資料 Vol. 1」活用研修が行われました

4月28日(金)、県立教育センターで「生徒指導研修資料 Vol. 1」活用研修が行われ、県立・私立の高等学校教職員ら114名が参加しました。

研修は講師の小林富貴子様のご指導で行われ、5～6人のグループにわかれ、事例に対する協議・検討を進めながら、グループでの情報の共有や幅広い意見の出し方などの手法を学びました。

この研修の参加者を中心に、今後各校で「生徒指導研修資料 Vol. 1」を用いた校内研修を行い、教職員の資質向上を図ってきます。



研修会講師

チャイルドラインにいがた顧問
一般財団法人教育研修コーチング協会理事長
小林富貴子 様

参加した教職員の感想

●本研修資料を活用して、校内での共通認識を図り、情報共有体制を整えるとともに、行動の一元化を図っていきたくと思いました。

また、教職員にはできること、できないことがあります。一人で抱え込まず、チームで取り組んでいきたくと考えています。(下越地方女性教諭)

●対象となる生徒に学校全体で同じ方向で対応するには、こうした研修が必要だと感じた。(中越地方男性教諭)

●未来ある子どもが自殺することがないように、生徒指導に取り組むたい。(中越地方男性教諭)

●保護者、地域、外部専門機関と連携しながら、生徒に寄り添いながら、生徒指導に取り組んでいきたい。(上越地方女性教諭)

